

## 出演オーケストラ概要

### ・大阪交響楽団

1980年創立。永久名誉楽団代表・敷島博子が『聴くものも、演奏するものも満足できる音楽を！』を提唱。いつも聴衆を“熱く”感動させるその演奏は、「魂の叫び」「情熱の音」と評されています。2010年4月に楽団名を「大阪交響楽団」とし、2012年4月に支援組織を統合し、一般社団法人大阪交響楽団となりました。2016年4月からは、日本楽壇最長老の外山雄三がミュージック・アドバイザーに就任、常任指揮者の寺岡清高と共に、さらなる楽団の飛躍が期待されています。

### ・大阪フィルハーモニー交響楽団

1947年、朝比奈隆を中心に「関西交響楽団」という名称で生まれ、創立から2001年までの55年間、朝比奈隆が常任指揮者・音楽総監督を務めました。第2代音楽監督・大植英次の後を受け、現在は井上道義が首席指揮者を務めています。「定期演奏会」をフェスティバルホールで行うほか、平日昼の演奏会「マチネ・シンフォニー」、御堂筋や中之島を中心とした音楽イベント「大阪クラシック」など幅広い活動を行っています。

### ・関西フィルハーモニー管弦楽団

1970年発足。2003年にNPO法人化し、2014年には認定NPO法人化。関西を代表する楽団の一つ。世界的ヴァイオリニストでもあるオーギュスタン・デュメイは2008年より首席客演指揮者を務め、2011年より楽団史上初の音楽監督に就任。藤岡幸夫は2000年より正指揮者を務め、2007年より首席指揮者に就任。飯守泰次郎は2001年より常任指揮者を務め、2011年桂冠名誉指揮者に就任。2014年10月よりスタートしたBSジャパンの音楽番組「エンター・ザ・ミュージック」（毎週月曜夜11時）に藤岡幸夫と共に出演中。2015年5月から6月にかけては、スイス・ドイツ・イタリアの3カ国5都市を巡る楽団初のヨーロッパツアー（合計5公演）を開催し、各地で大きな注目を集めました。

### ・日本センチュリー交響楽団

日本センチュリー交響楽団は1989年に活動を開始し、創立25周年を迎えた2014年度には首席指揮者に飯森範親を、首席客演指揮者にアラン・ブリバエフを迎え新たなスタートを切りました。2015年度はアーティスト・イン・レジデンスに小山実稚恵を迎え、シンフォニー定期演奏会の金曜・土曜2回連続公演や、ハイドンの交響曲を全曲演奏・録音する「ハイドンマラソン」などにチャレンジしてきました。2016年からは大阪府豊中市に完成予定の豊中市立文化芸術センターの指定管理事業に携わり、豊中市の文化芸術の発展に尽力します。

## 出演者と曲目（予定）

楽団名	氏名	楽器	曲目
大阪交響楽団	大谷 雄一	チェロ	ドヴォルザーク：ユーモレスク アンダーソン：トランペット吹きの日 讃歌：アメリカングレイト ハリエル：二本のチェロのためのソナタより第三楽章
	大槻 健太郎	コントラバス	日本民謡：さくらさくら ハーライン：星に願いを ニーロータ：ゴットファーザーより愛のテーマ ロッシニ：チェロとコントラバスのための二重奏曲（全楽章）
大阪フィルハーモニー交響楽団	高山 佳南子	ヴァイオリン	バルトーク：44の二重奏曲より ブ람ス：ハンガリー舞曲 第5番 ト短調
	藤木 愛	ヴァイオリン	イギリス民謡：グリーンズリーヴス
関西フィルハーモニー管弦楽団	ギオルギ・バプアゼ	ヴァイオリン	モーツァルト：ディアルティメント第17番ニ長調 k.334 よりメヌエット
	ザザ・ゴグア	ヴァイオリン	ヴァジヤ・アザラシヴァリ：ノクターン ジョージア（グルジア）民謡ドレ
日本センチュリー交響楽団	池原 衣美	ヴァイオリン	シュベルト：弦楽三重奏曲（弦楽トリオ D.471 変ロ長調） 菅野ようこ：花は咲く
	永松 祐子	ヴィオラ	葉加瀬太郎：情熱大陸 角野寿和/青葉紘季：365日の紙飛行機
	望月 稔子	チェロ	S.ジョプリン：エンターテイナー L.ローゼンマン：エデンの東

## 天満音楽祭とは

2000年、大阪・天満の地元のバンド仲間が始めた地域音楽祭。「音づくり、仲間づくり、街づくり」をテーマとして、地域住民の方々や多くのボランティアで運営され育った地域イベントです。あらゆるジャンルのミュージシャン300組近くが出演。天満エリアを中心とした様々な会場で催されます。17年目を迎える今年も、10月2日（日）に開催されます。

## ウェルカムコンサート

ライブ当日は、大阪ステーションシティ南ゲート広場に設置する受付横で、大阪音楽大学管楽器専攻生によるウェルカムコンサートを開催します（12:20頃開始予定）。こちらは鑑賞無料・申込不要です。